



オートバックスセブン  
株主通信

**Vol.14**

第59期

しょうげき～衝撃～

# Show Get-key

第3四半期 事業報告書 2005年10月1日から2005年12月31日まで

## オートバックスグループの大義

# 「車好きのユートピアをつくる」 「世界中のドライバーを車好きに変える」

二つの大義を実現するため、私たちオートバックスグループは、  
カーライフスタイルの創造者として行動します。

オートバックスグループ創業の原点、それは「お客さまに車の楽しさをもっと伝えたい、お客さまのカーライフをもっと豊かにしたい」という熱い思いです。オートバックスブランド誕生から30年以上が経過し、グループ500店舗を超える業界のリーディングカンパニーへと成長した現在でも、この気持ちは決して変わりません。

車はただの乗り物ではなく、私たちの人生を豊かに変え、生活を楽しくしてくれるパートナーであるということを伝えたい。車が秘めている楽しさをできるだけ多くの方と分かち合い、世界中の人に車を好きになってもらいたい。そして車のある生活をもっともっと楽しんでワクワクしてほしいのです。

私たちはこれからも、人と車が調和した社会とより充実したカーライフを提案し続けることで、お客さまと車の楽しさや走る喜びを共有するとともに、お客さまの満足とオートバックスグループの成長のために挑戦を続けます。

### 見直しに関する注意事項

この株主通信に記載してある戦略や今後の事業展開など歴史的事実に基づいていない部分は、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、実際はさまざまなリスク要因の変化により異なる結果となることがあります。

### 個人情報保護方針

株式会社オートバックスセブン、個人情報保護の重要性に鑑み、個人情報を適切に保護するため、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報を適切かつ安全に取り扱います。

## 目次

- 1 オートバックスグループの大義
- 2 ごあいさつ
- 3 AUTOBACS GROUP Business Pick Up  
車販売
- 5 Store Format Strategy – 店舗戦略  
オートバックス走り屋天国セコハン市場
- 7 トピックス
- 9 財務報告
- 13 株式情報
- 14 会社情報





## ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

オートボックス株主通信「Show Get-key」Vol.14をお届けします。今号では、第59期第3四半期の財務・業績状況のご報告とともに、中期経営計画の重点課題のひとつである「車販売」について特集記事を掲載しています。

私たちは中期経営計画において、「トータルカーライフサポート業」への転換を図り、エリアドミナント戦略、トータルカーライフ事業戦略および海外事業戦略の三つの成長戦略による「再成長の実現」を目指しています。この冊子を通じて「車好きのユートピアをつくる」とことと「世界中のドライバーを車好きに変える」ことを大義として掲げる私たちの熱い思いが株主の皆さまに伝わることを願っています。

### 当第3四半期の報告

当第3四半期中は、企業の輸出・生産に持ち直しの傾向が見られ、大企業を中心とした冬のボーナスの増加や雇用情勢の改善が、個人消費を一層押し上げるなど、国内民間需要に支えられた緩やかな景気回復が見られました。カー用品市場においては、記録的な寒波・降雪の影響もあり、タイヤ・ホイール・タイヤチェーンといった季節関連商品の需要が例年以上に増加しました。弊社としても、新規顧客開拓と既存顧客の再来店強化を目指し、「カーライフはAじゃないか! キャンペーン」や、オートボックスならではのオススメ商品をお客さまへ提供する「<sup>みこし</sup>神輿大作戦」、インターネットを使ったキャンペーン広告などを展開しました。

この結果、当第3四半期業績(連結)の売上高は1,931億49百万円(前年同期比6.8%増)と堅調に推移しました。さらに、季節関連商品の好調な販売とETC車載器が需要拡大期を迎えたことで粗利率が改善し、営業利益は133億3百万円



(同87.8%増)、経常利益は161億68百万円(同51.2%増)、四半期純利益は83億29百万円(同226.4%増)と、前年同期を大きく上回る実績となりました。

### 再成長へのあくなき挑戦

当第3四半期の好業績は、季節要因もありますが、それ以上に全社一丸となってカー用品市場の縮小という事態に対する危機感や再成長へ挑戦する意気込みを共有し、非常に強いモチベーションを持って行動した成果の表れだと評価しています。「いま、お客さまは何を望まれているのか」「お客さまの満足度を高める品揃えとサービスとは」「効率的なコスト削減策と経営資源を最大限に活用した店舗戦略とは」といったさまざまな課題に独自のアイデアを出し合う社員の姿を日々目にしていると、再成長に向けた軌道がより確かなものとなる日は、そう遠い未来ではないと確信しています。

株主の皆さまには、進化を続けながら成長していくオートボックスグループへの変わらぬご厚情とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2006年2月

住野 公一

代表取締役 CEO

# AUTOBACS GROUP Business Pick Up



## 車販売

ここではオートバックスグループのさまざまな事業展開を紹介します。前回の「車検・整備」に続き、今回は少しずつ成長してきている「車販売」を取り上げます。



オフィサー C@RS 事業担当 榎 宏介



## 成長への挑戦

オートバックスグループの車販売への挑戦は2001年から始まりました。「カー用品専門店」から「トータルカーライフサポート業」への転換を図るオートバックスグループにとって、車そのものの販売は欠かすことのできない事業です。当初はごく一部の店舗で中古車の販売および買い取りを開始しましたが、2002年には中古車オークションの株式会社オークネットと業務提携し、本格的な事業展開に踏み出しました。その後、国産全メーカーの新車販売も開始しています。

最近では自動車リース業界No.1のオリックス自動車株式会社との業務提携で誕生した、中古車の個人リース商品「アウトレットCARプラン」を2005年9月に販売し、2006年2月からは新車の個人リース商品「いまのりくん2年コース」も投入しています。また2005年11月からは「オートバックス・カーズ」のCM(8ページ参照)を全国ネットで放映し、お客さまの認知度の向上を図るなど、オートバックスグループの車販売はますます進化し続けています。



## オートボックスで車を買う

現在(2006年2月時点)、オートボックスグループの全国約500店舗中、239店舗に車販売コーナー「オートボックス・カーズ」が設けられています。中古車をお求めのお客さまは、専用情報端末「カーズナビ」を通じて、約2万台の良質な中古車在庫の中から好みの車を瞬時に検索することができ、新車をお求めのお客さまは国産全メーカーのカタログから好みの車を選んでいただくことができます。またオリジナル・カスタムカーブランド「monoCRAFT」シリーズなどを展示販売する「オートボックス・カーズ・ショー」も一部の店舗で展開しています。

このようにオートボックスグループの車販売の特徴は、お客さまのあらゆるニーズに応えられることです。ひとつのオートボックス店舗に行けば、車の買い取りから中古車

および国産全メーカーの新車の購入もでき、リースを選択すれば、より手軽に車を乗り換えることもできます。さらに車購入と同時に好みのカー用品を装着することもできます。今後は数年以内にすべてのオートボックスグループ店舗への「オートボックス・カーズ」導入を推進していく計画です。



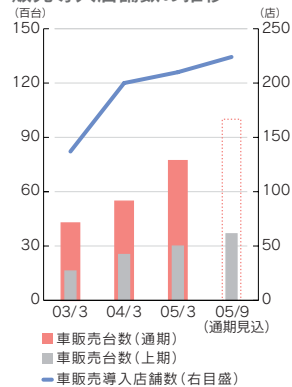
## 車販売が生み出す効果

オートボックスグループの車販売はトータルカーライフ事業戦略の中でも重要な位置づけにあります。車販売の売上げは少しずつ伸びており、車が売れることでカー用品も売れるという相乗効果が期待されます。いまやお客さまはオートボックスで車の購入から、カー用品・整備・車検とカーライフに必要なすべてのサービスを受けることができます。今後はこれまで以上にこれらのサービスをひとつにしたトータルカーライフをお客さまに提案し、既存店舗との相乗効果を最大限に発揮することを目指します。

いま「オートボックス・カーズ」では、お客さまからの信頼感を高める取り組みにも注力しています。品揃えの豊富さはもちろんのことながら、何より「お客さまに安心して車を選んでもらえる」という環境を提供できてこそ、私たちの目指す「トータルカーライフサポート業」に近づく

ことができると考えているためです。社員一人ひとりがより良いカーライフを提案する「マイスター」としてお客さまと接することができるよう、専門知識と接客力の向上を目指し、さまざまな研修体制を強化しています。多種多様なドライバーに充実したサービスを提供できる豊富なラインナップを構築し、車購入後もカーライフをきめ細かくサポートすることでお客さまとの生涯にわたる信頼関係を築き上げていきます。

車販売の販売台数および販売導入店舗数の推移



# オートボックス走り屋天国セコハン市場



## プロが厳選した中古カー用品を販売

「オートボックス走り屋天国セコハン市場」は、オートボックスグループの各店舗で下取りした中古カー用品や、メーカーからのアウトレット商品を販売する店舗です。カーナビゲーションやカーオーディオなどの人気商品ははじめ、アルミホイール、マフラーなどの各種モータースポーツ商品を豊富に取り揃え、特に若年層の車好きなお客さまに向けて、嗜好性の高い商品をリーズナブルな価格で提供しています。

また販売するカー用品は、中古といってもすべてプロのスタッフが厳しい目で査定をし、入念にメンテナンスを行った商品のみを取り扱っています。愛車を大切に、長期間乗り続けるお客さま、旧年式車をこよなく愛するお客さまにとって、中古パーツは欠かせない存在であり、ニーズも高いのです。そして旧年式車を自分好みにカスタマイズして楽しみたいというお客さまの多種多様なニーズにお応えするため、より専門的な店舗も展開しています。

## 「オートボックス走り屋天国セコハン市場」の業態特徴

	オートボックス 走り屋天国セコハン市場	オートボックス
コンセプト	中古カー用品専門店	カー用品総合量販専門店 (地域密着型店舗)
ターゲット	車好き若年層	一般ドライバー
商圏	半径 10 キロ圏内	半径 5 キロ圏内
基準売場面積	120 坪～	150 坪～
ビット数	4 台～	7 台～
駐車台数	20 台～	50 台～

「オートバックス走り屋天国セコハン市場」は、オートバックスグループの店舗ネットワークを活かして展開する、中古カー用品の販売・買取専門店です。今回は中古カー用品市場の成長とともに店舗数を増やしつつある「オートバックス走り屋天国セコハン市場」を紹介します。

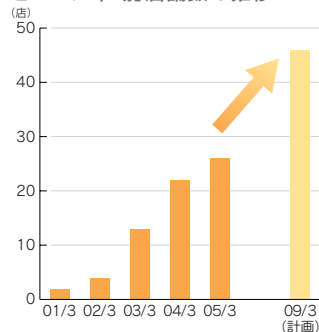
### 他業態との相乗効果を発揮

「オートバックス走り屋天国セコハン市場」では中古カー用品を取り扱っているため、グループ内の他の業態店舗とはほとんど競合せず、新たなニーズを持ったお客さまを取り込むことができる業態です。さらに中古カー用品を調達するために、他の業態店舗で積極的に下取りを行うことで、新品の買い替え需要を促進するなど、グループ内でのシナジー効果も発揮しています。

中古カー用品市場は、カーエレクトロニクス製品の高性能化や頻繁なモデルチェンジなどの影響もあり、大きく成長しています。「オートバックス走り屋天国セコハン市場」は、新規顧客の開拓とカー用品のリサイクルを目指す業態として経営戦略上で重要な役割を担うため、今後はより積極的に展開していく予定です。現在は28店舗(2006年1月末)を全国で展開していますが、2009年3月期末には46店舗にまで拡大させる計画です。



「オートバックス走り屋天国セコハン市場」店舗数の推移



### AUTOBACS ASM YOKOHAMA



「AUTOBACS ASM YOKOHAMA」はオートバックスグループの中でも、特にこだわり派のお客さまをターゲットとした、レカロシートをはじめ各種オリジナルパーツなどを豊富に取り揃えているスペシャルショップです。なかでもレカロシートはシート展示数160脚、シートレール在庫400脚を誇り、輸入車・国産車を問わずスポーツカーからミニバンまで幅広く対応しています。ぜひ一度ご来店ください。

詳細は「AUTOBACS ASM YOKOHAMA」ウェブサイトをご覧ください。  
<http://www.autobacs-asm.com/>



2005年 11月

## 「ETC車載器リース制度」取り扱い

オートバックスグループの各店舗では、ETC※普及のための「ETC車載器リース制度」を導入し、ETC車載器のリース、取り付け、セットアップ費用の総額から5,250円(税込)を値引きする助成サービスを実施しました。「ETC車載器リース制度」とは、財団法人道路システム高度化推進機構(ORSE)が、国土交通省の委託を受けて行っている制度で、ETC利用開始時の初期費用を低減し、ETCの普及促進を目的としているものです。

注) この制度は予定数量に達したため、2006年1月末に終了いたしました。



## ETC普及のために

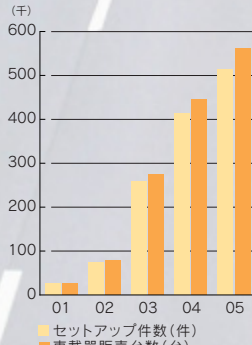
オートバックスグループではETCが導入された2001年3月より首都圏と沖縄の店舗で、また同年11月には全国約500店舗でETC車載器の販売を開始しました。当グループでは車載器の販売だけにとどまらず、カー用品業界初となる、独自の「キャッシュバック・キャンペーン」の実施や、日本初の「ETCカード即時自動発行サービス」開始など、カー用品業界のリーディングカンパニーとしてETCの普及に努めてきました。

国内におけるETC車載器のセットアップ台数の累計は2005年12月25日に1,000万台を突破。当グループにおけるセットアップ件数は同年7月に100万台を突破、12月末には約140万台を達成しています。当グループでは今後もETCの普及に尽力し、お客さまはもちろん自動車を利用されるすべての方々の利便性と快適性を追求していきたく考えています。

【参照】 財団法人道路システム高度化推進機構(ORSE) <http://www.orse.or.jp/>  
ETC総合情報ポータルサイト <http://www.go-etc.jp/>

※ ETC = Electronic Toll Collection System (ノンストップ自動料金支払いシステム)  
車が有料道路の料金所で一旦停止することなく、車載器と料金所に設置されたアンテナの間で無線通信を用いて、自動的に料金の支払いを行うシステム。

ETC車載器販売台数と  
セットアップ件数の推移  
(千)



※2005年度のみ4~12月累計



2005年 11月

### 株式会社オートワールドよりカー用品店3店舗を譲渡

中期経営計画の中核を担うエリアドミナント戦略推進の一環として、株式会社ダイエーの100%子会社である株式会社オートワールドが運営するカー用品専門店3店舗を11月1日付で譲り受け、大阪エリアにおける売上げおよび売上シェアの拡大を目指します。

株式会社オートワールドから譲り受けた各店舗は、それぞれ『オートボックス・豊中』（大阪府豊中市）、『オートボックス東大阪菱江』（大阪府東大阪市）、『オートボックス東香里』（大阪府枚方市）として11月18日に新規オープンしました。これらの店舗をオートボックスとして運営することにより、売上げは旧店舗の1割増以上を見込んでいます。

2005年 12月

### 英ハルフォーズグループの株式を取得

2005年7月にハルフォーズグループ(Halfords Group plc)と締結した協力協定のさらなる推進策として、12月12日付で同社の株式1,140万株を約75億円で取得しました。

ハルフォーズはカー用品や自転車用品などを販売する英国の業界最大手であり、オートボックスセブンはハルフォーズとの協力協定の締結にともない、英国での日本製品の販売や、アジアのメーカーからの商品の共同購買の検討などを推し進めてきました。今後はハルフォーズ



とより緊密な協力関係を構築することにより、売上げの増加や共同購入によるコスト削減などの効果を期待しています。

10月

- ・自己株式76,000株の市場買付を実施
- ・『澳徳バックス(オートボックス)廈門金尚(アモイキンショウ)店』をオープン(中国福建省)

11月

- ・『オートボックス桑名店テクノキューブ(三重県)』、『オートボックス牧落店テクノキューブ(大阪府)』を開設
- ・「monoCRAFT Concept R(コンセプトアール)」独占販売開始
- ・車販売の初CMに「大木こだまひびき」さん出演
- ・『オートボックス山口周南店』をオープン(山口県)



12月

- ・『オートボックス走り屋天国セコハン市場羽村』をオープン(東京都)
- ・『オートボックス学園南』をオープン(兵庫県)



# 財務報告

## 連結貸借対照表

単位:百万円

第58期第3四半期  
(平成16年12月31日現在)

第59期第3四半期  
(平成17年12月31日現在)

第58期  
(平成17年3月31日現在)

<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>	<b>107,844</b>	<b>136,603</b>	<b>104,214</b>
現金及び預金	36,801	37,486	51,306
受取手形及び売掛金	20,824	23,314	12,919
有価証券	5,988	29,591	5,124
たな卸資産	22,505	19,459	17,247
繰延税金資産	2,309	2,116	1,906
短期貸付金	902	789	841
未収入金	17,628	22,340	14,133
その他	2,012	2,160	1,444
貸倒引当金	△1,128	△654	△710
<b>固定資産</b>	<b>101,625</b>	<b>107,177</b>	<b>99,010</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>54,340</b>	<b>48,860</b>	<b>51,399</b>
建物及び構築物	24,998	22,115	23,917
土地	22,345	20,932	21,070
その他	6,997	5,812	6,411
<b>無形固定資産</b>	<b>3,187</b>	<b>4,998</b>	<b>4,253</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>44,096</b>	<b>53,318</b>	<b>43,357</b>
投資有価証券	13,343	24,631	12,883
長期貸付金及び長期差入保証金	27,194	25,104	26,307
繰延税金資産	3,729	4,897	4,802
その他	1,720	1,492	1,880
貸倒引当金	△1,891	△2,807	△2,516
<b>資産合計</b>	<b>209,469</b>	<b>243,781</b>	<b>203,224</b>
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>	<b>41,676</b>	<b>55,953</b>	<b>34,609</b>
支払手形及び買掛金	22,898	25,762	14,335
短期借入金	2,959	5,145	4,863
未払金	—	15,138	9,020
未払法人税等	414	4,992	1,159
その他	15,404	4,915	5,231
<b>固定負債</b>	<b>18,648</b>	<b>22,983</b>	<b>19,153</b>
社債	8	—	8
転換社債型新株予約権付社債	10,000	1,775	10,000
長期借入金	516	11,343	415
退職給付引当金	509	374	385
役員退職給与引当金	115	421	429
事業再構築引当金	—	874	—
その他	7,498	8,193	7,914
<b>負債合計</b>	<b>60,324</b>	<b>78,937</b>	<b>53,763</b>
<b>(少数株主持分)</b>			
<b>少数株主持分</b>	<b>608</b>	<b>518</b>	<b>478</b>
<b>(資本の部)</b>			
<b>資本金</b>	<b>31,958</b>	<b>33,247</b>	<b>31,958</b>
資本剰余金	32,241	33,763	32,241
利益剰余金	89,745	96,583	90,121
その他有価証券評価差額金	75	1,011	206
為替換算調整勘定	△368	△243	△426
自己株式	△5,116	△35	△5,118
<b>資本合計</b>	<b>148,537</b>	<b>164,325</b>	<b>148,982</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>209,469</b>	<b>243,781</b>	<b>203,224</b>

## 連結損益計算書

単位:百万円

	第58期第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	第59期第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	第58期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
売上高	180,835	193,149	226,779
売上原価	128,584	135,185	158,583
販売費及び一般管理費	45,166	44,660	60,827
営業利益	7,084	13,303	7,368
営業外収益	5,413	4,407	7,900
営業外費用	1,802	1,542	2,574
経常利益	10,695	16,168	12,694
特別利益	843	143	1,262
特別損失	5,129	2,029	7,081
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,408	14,283	6,875
法人税、住民税及び事業税	2,921	6,743	3,910
法人税等調整額	1,043	△822	268
少数株主利益(△)・損失	108	△32	231
四半期(当期)純利益	2,551	8,329	2,928

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	第58期第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	第59期第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	第58期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,621	13,648	10,979
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,408	14,283	6,875
減価償却費	4,141	3,542	5,536
減損損失	4,384	—	4,384
売上債権の増減額(増加:△)	△12,598	△18,502	△1,286
たな卸資産の増減額(増加:△)	△3,745	△2,094	1,492
その他	8,520	19,093	△458
小計	7,110	16,321	16,545
利息及び配当金の受取額	576	189	792
利息の支払額	△30	△40	△80
法人税等の支払額	△6,035	△2,821	△6,276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,660	△16,361	△1,276
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,558	△3,221	△6,349
有価証券の取得による支出	△6,269	△23,791	△10,183
有価証券の償還・売却による収入	4,370	9,218	9,782
その他	1,797	1,434	5,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,563	9,357	236
短期借入金の増減額(減少:△)	△106	△34	1,922
長期借入れによる収入	120	12,500	120
長期借入金の返済による支出	△360	△1,291	△587
自己株式取得による支出	△5	△331	△7
配当金の支払額	△1,384	△1,773	△1,384
その他	172	288	172
現金及び現金同等物に係る換算差額	78	68	55
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△4,523	6,713	9,994
現金及び現金同等物の期首残高	41,155	51,150	41,155
連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	51	—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	36,631	57,915	51,150

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 40,925 百万円

2. 1株当たり四半期純利益 230円48銭

3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。







## 連結会計処理方法の変更

従来、不動産およびリース物件の賃貸借料は営業外収益に、賃貸借費用は販売費及び一般管理費ならびに営業外費用に計上していましたが、店舗網の拡大などに伴い今後とも継続的に収益計上が見込まれること、新会計システムの導入により不動産およびリース物件の賃貸借収支に係る損益を店舗ごとに正確に把握できるようになったことに伴い、収益および費用を適切に対応表示させるため、当連結会計年度から賃貸借料は「売上高」に、賃貸借費用は「売上原価」に計上する方法に変更しました。

また営業外収益の「情報機器賃貸料」に対応する費用を販売費及び一般管理費に計上していましたが、新会計システムの導入により情報機器賃貸料に対応する費用を正確に把握できるようになったことに伴い、収益および費用を適切に対応表示させるため、当連結会計年度から、「情報機器賃貸費用」を営業外費用に計上する方法へ変更しました。

この結果、従来と同一の方法によった場合と比較して、売上高は29億17百万円、売上総利益は7億41百万円、営業利益は21億75百万円増加しています。なお、経常利益に与える影響はありません。

## 業態別店舗数

	第58期第3四半期 (平成16年12月31日現在)	第59期第3四半期 (平成17年12月31日現在)	第58期 (平成17年3月31日現在)
スーパーオートバックス:	59	62	60
 Type I	6	6	6
 Type II	53	56	54
 オートバックス	412	408	410
 オートハローズ	16	14	16
 オートバックス走り屋天国セコハン市場	26	29	26
 オートバックスエクスプレス	5	5	5
海外(スーパーオートバックス、オートバックス)	12	13	12
合計	530	531	529

## 要約個別貸借対照表

単位:百万円

	第58期第3四半期 (平成16年12月31日現在)	第59期第3四半期 (平成17年12月31日現在)	第58期 (平成17年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	103,517	129,237	98,147
固定資産	104,475	117,991	99,952
有形固定資産	43,261	40,362	41,779
無形固定資産	2,349	4,139	3,427
投資その他の資産	58,863	73,488	54,745
資産合計	207,992	247,229	198,099
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	39,405	60,108	29,495
固定負債	17,755	22,621	18,211
負債合計	57,161	82,729	47,706
<b>(資本の部)</b>			
資本金	31,958	33,247	31,958
資本剰余金	32,241	33,763	32,241
利益剰余金	91,640	96,486	91,079
その他有価証券評価差額金	75	1,006	201
自己株式	△5,085	△3	△5,087
資本合計	150,830	164,499	150,392
負債及び資本合計	207,992	247,229	198,099

## 要約個別損益計算書

単位:百万円

	第58期第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	第59期第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	第58期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
売上高	159,717	166,831	194,195
売上原価	128,516	132,610	154,694
販売費及び一般管理費	24,306	21,248	32,018
営業利益	6,895	12,972	7,482
営業外収益	4,962	2,593	6,634
営業外費用	1,129	1,078	1,511
経常利益	10,729	14,486	12,606
特別利益	1,625	196	2,205
特別損失	5,958	2,421	9,071
税引前四半期(当期)純利益	6,396	12,262	5,740
法人税、住民税及び事業税	2,335	5,491	3,131
法人税等調整額	1,524	△505	634
四半期(当期)純利益	2,536	7,276	1,974
前期繰越利益	2,571	2,854	2,571
中間配当額	745	922	745
四半期(当期)未処分利益	4,362	9,208	3,800

- 注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 30,484百万円  
 2. 1株当たり四半期純利益 201円32銭  
 3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。



# 株式情報 (2005年12月31日現在)

発行する株式の総数	109,402,300株	
発行済株式の総数	38,661,418株	
株主数	9,648名	
決算日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会	3月31日
	利益配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
	なお臨時に必要があるときは、あらかじめ公告いたします。	

1単元の株式の数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞 ただし、決算公告に代えて貸借対照表および損益計算書に係る情報は、 <a href="http://www.autobacs.co.jp/">http://www.autobacs.co.jp/</a> において提供いたします。

上場証券取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所、 ロンドン証券取引所
---------	-------------------------------

名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
---------	--------------------------------

名義書換事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
------------	---------------------------------------

郵便物送付先	東京都府中市日鋼町1番10(〒183-8701) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
--------	--

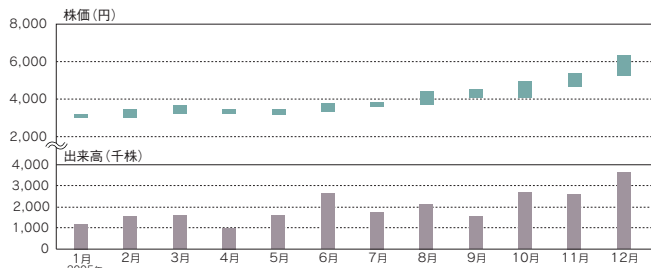
電話照会先	0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求) 0120-176-417 (その他のご照会)
-------	--

名義書換取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
---------	-----------------------

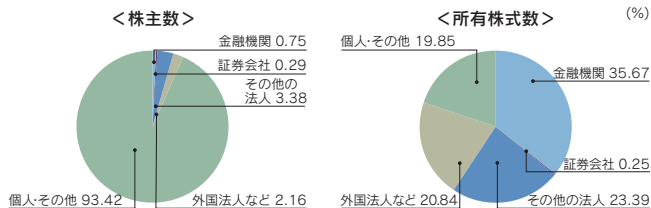
大株主一覧	有限会社スミノホールディングス 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) ノーザン・トラスト・カンパニー(エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) 財団法人在宅医療助成勇美記念財団 住野正男 ノーザン・トラスト・カンパニー エイブイエフシー リュー エス タックス エグゼンプテッドベンション ファンズ 資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口) 住野公一
-------	--

- 注) 1. 上記以外の名義書換のなされていない株主については、有価証券報告書をご覧ください。  
2. 株主数、大株主一覧、所有者別状況は2005年9月30日現在のデータです。

## 株価推移 (大阪証券取引所)



## 所有者別状況



## 住所変更の手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きをお願いいたします。株主招集ご通知や配当金などをお届けできなくなります。

ご変更は、住友信託銀行㈱の電話照会先(フリーダイヤル)までご連絡ください。なお、証券保管振替制度をご利用の株主さまについては、お取引の証券会社で変更手続きを行ってください。

## 株主優待制度について

『オートボックス』、『スーパーオートボックス』などで、1,000円(消費税込み)のご利用につき1枚お使いいただける株主優待券(300円値引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている株主の皆さまにお送りしています。

### ご参考

- 配布枚数(半期毎): 所有株式数 100株~999株 優待券 25枚  
1,000株~ 優待券 50枚
- 優待券は商品券・他の値引(買い物券、クーポン券、値引券等)を併用の場合、値引き後の金額に対してご利用いただけます。
- 優待券は日本国内のオートボックス、スーパーオートボックス、オートボックス走り屋天国セコハン市場、オートボックスエクスプレスおよびオートハロワーズの全店舗でご利用いただけます。ただし、オートボックス・コース、海外店舗ではご利用いただけません。
- 優待券は燃料、車両、保険、税金、飲食、タバコ、特価商品などにはご利用いただけません。

※車検につきましては、重量税、印紙代、自賠責保険料、リサイクル料にはご利用いただけません。車検基本料、検査手続き代行料、完成検査料、その他整備工賃、部品代にはご利用いただけます。(手続き費用は、一部店舗によって名称が異なります。)



# 会社情報 (2005年12月31日現在)

## 商号

株式会社オートバックスセブン (AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)

## 創業

1947年2月

## 資本金

332億4千7百万円

## 主な事業内容

当社は、各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店と並行して全国にチェーン展開しております。

## 役員一覧

### 取締役

#### 代表取締役

住野 公一 CEO

#### 取締役 (オフィサー兼務)

野上 明 COO

湧田 節夫 Co-COO

エリアドミナント戦略推進統括

経森 康弘 Co-COO

トータルカーライフ事業戦略推進統括

井手 秀博 財務基盤整備

横井 英昭 人材基盤整備

住野 耕三 海外事業戦略推進兼アジア事業部長

松尾 隆 経営戦略推進兼経営戦略推進室長

### 取締役

中田 康雄<sup>\*1</sup> (カルビー(株) 代表取締役社長兼 CEO)

宮内 英樹<sup>\*1</sup>

### 監査役

森野 孝太郎<sup>\*2</sup> 常勤監査役

吉田 治邦<sup>\*2</sup> 常勤監査役

住野 泰士 常勤監査役

田邊 健介<sup>\*2</sup> 監査役

## 主要な事業所

本社	(東京都江東区)	欧米事業部	(東京都江東区)
北日本エリア事業部	(仙台市泉区)	アジア事業部	(東京都江東区)
北関東エリア事業部	(千葉県市川市)	中国事業部	(東京都江東区)
南関東エリア事業部	(千葉県市川市)		
中部エリア事業部	(名古屋市名東区)		
関西エリア事業部	(大阪府吹田市)		
南日本エリア事業部	(福岡市博多区)		

## オフィサー (取締役を除く)

森本 弘徳	エリアドミナント戦略推進兼店舗開発兼業態開発事業兼 エリアドミナント戦略推進室長
武田 健一	トータルカーライフ事業戦略推進兼カー用品事業兼 トータルカーライフ事業戦略推進室長
伊藤 浩明	北日本エリア事業部長
小林喜夫巳	北関東エリア事業部長
角倉 正親	南関東エリア事業部長
戸出 謙	中部エリア事業部長
松村 晃行	関西エリア事業部長
江本 吉弘	南日本エリア事業部長
森本 眞臣	U-PARTS 事業兼 U-PARTS 開発部長兼 カスタムカー開発部長
釜田 尚文	車検整備事業
榎 宏介	C@RS 事業兼 C@RS 事業推進部長
深山 義郎	新規事業
志野 修市	中国事業兼中国事業部長
小平 智志	戦略推進基盤整備兼システム基盤整備

\*1 商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役

\*2 「株式会社社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役

オートバックス・カーズ

# 中古車 新車 購入 再入

チツチキチ~



愛車無料査定実施中!

- 中古車情報を全国から瞬時に検索!
- ドレスアップパーツやオーディオもその場で選べ、一括ローンOK!
- 更にカー用品5%割引(お車ご購入時)納車までに取付OK!

※キャンペーン商品、一部特価品等は除きます。

2年間安心プラス保証も選べます

個人向け自由なカーライフプラン



いまのりくん

2年コース

いまのりくん2年コースなら、5年コースの契約で2年経過後、返却(解約金なし)も、乗り換えでも、乗り続けても、買取もOK!



## 新車半額革命!!

欲しいクルマに半額で乗れる。

ローン終了後、購入時に設定した「買取保証額」での買取をお約束します。  
※走行距離・内外装評価等の定められた条件を満たして頂く必要があります。

- 新車車両本体価格の最大半額を3年間据え置きOK(3年コースの場合)
- しかも、据置いた半額は3年後買取額として<sup>※</sup>完全保証!  
※あらかじめお約束されていたく走行距離、損傷範囲内の場合
- 選べるお支払プラン3年・5年のコースがお選び頂けます。

※お取り扱いのない店舗もございます。

※ オートバックス・カーズキャラクター:大木こだまひびきさん

## オートバックスで中古車、新車、選べる、買える!

クルマ心を大切にするあなたを応援したい。オートバックスがあなたをサポートします。

もっと詳しくはパソコンから・・・<http://www.abcars.jp/>



大豆インクを使用し、古紙配合率100%の再生紙に、水なし印刷をしています。



**AUTOBACS SEVEN CO., LTD.**

株式会社 オートバックスセブン 東京都江東区豊洲5-6-52 ISTビル 〒135-8717